

西小は 大きな 家族

Family

～校長のたわいもない独り言・その2～

平成31年4月8日（月）No.2

発行人

休みの日は、田んぼと日曜大工と
草刈と・・・の川崎先生。結構充実。

★『ほのぼの入学式』4/4（木）★

桜は満開、空は日本晴れ。穏やかな春の日の西小 145 回目の入学式。小学校生活の第一歩がこんな素敵なシチュエーションになるなんてなんと幸せなんだろう。（そう言えば去年は桜の開花が早く、入学式当日は見事な葉桜だった。散った花びらを集めて、玄関から校門まで撒いたなあ～。これはこれで思い出(^)v)。

上級生のお兄さんお姉さんに手を引かれて入場。もうこの段階から可愛さ満開。なにもしなくても見ているだけでもいい。（この感覚もおじさんらしさ満開(^_^)）。大勢の視線の中でとても緊張したと思うけど、その中でもはっきり返事をし、最後まで落ち着いた姿はとても立派だった。

式が終わって1年教室での学活。担任の飯野 t の呼びかけに対して、大きい声で返事。お父さんお母さんも返事。このノリが大切(^)v。いいなあ～ほのぼの空間。明日から大きなランドセルと黄色い帽子をかぶって登校してくるのだろう。これがまたたまらなく可愛いんだな、また。楽しみ楽しみ。

◆と、上で書いた次の日・・・◆

来た来た！！黄色い帽子のちっちゃな姿が上から下から近づいてくる。上級生やお兄さんお姉さんに手を引かれ、お母さんやおじいちゃんたちが付き添って、トコトコやってくる。この光景は、道行く人誰もが笑顔になる。しばらくは道行く大人たちみんなの元気の元だね。

◆「あいさつ名人」を目ざそうと言った次の日・・・◆

さっそく6年生が川崎の姿を見つけるや、すばやく「おはようございます」！！。上から下から登校してくる子どもたちが、遠くから元気よくあいさつ。“打てば響く”ってこういう事。良いものを一生懸命実行しようとする素直な心。春の陽気と相まって、身も心もポカポカしてくる。

◆また始まる。伝統の・・・◆

玄関そうじ。登校してきた6年生が、誰からとなくほうきを持ちはき始める。それに仲間が続き、下級生も続く。そんな姿を全校が見ているから、それが伝統として受け継がれていく。今は桜。秋は枯葉。結構長い期間楽しめるね(^)v。

◆そしてまた始まる。伝統の・・・◆

じゃんけん大会。なんかこれが無いと一日が始まらない。6連敗した後に3年生の女の子に勝った。でも彼女、負けてもニコニコ笑顔。勝っても笑顔、負けても笑顔。だから毎日癒される。勝ち負けはどうでもいいんですよ。本当ですよ。本当に本当ですよ。